



Hatsudai Art Loft

オープンスペースでの舞台衣裳・美術展

初台アート・ロフト(Hatsudai Art Loft)

『奇想空間 —進化し続ける遊び心—展』開催のお知らせ



2023年『奇想空間 —進化し続ける遊び心—展』

～光と音、遊びの世界、秋冬太陽の祭り～

2023年10月1日～2024年2月下旬

入場無料

開場時間：8:00～20:00

会場：新国立劇場1階～3階のオープンスペース

新国立劇場では2023年10月1日より、オープンスペースにおいて初台アート・ロフト『奇想空間 —進化し続ける遊び心—展』を開催いたします。

時空を超えた人生の旅を構想する屋根裏部屋「初台アート・ロフト」。アート作品である舞台衣裳に光を当て、新たな物語を創造します。2019年にスタートした「初台アート・ロフト」は、「ファンタジー展」「パレード展」「生命の木展」「神話への旅展」「想像力と技—素材と型—展」「時空をこえて展」など様々な切り口から舞台衣裳の展示を実施してきました。今回は、『奇想空間展』と題し、衣裳を通じて、総合芸術である舞台に関わる人々がこれまでに創り上げてきた非日常な世界に迫ります。

19世紀半ばに万国博覧会がもたらした影響で、異国ブームが沸き起こりました。世界文化交流は各国にとって文化、産業開発に画期的な出来事であり、西は東に魅了され、東は西に魅了され、未来につなぐ新しい文化、産業が創り上げられました。今回の展示では、オペラ『蝶々夫人』（1998年初演）、『夕鶴』（2000年初演）、『紫苑物語』（2019年初演）、バレエ『梵鐘の聲』（1998年初演）、『くるみ割り人形』（1998年初演）、『ラ・バヤデー』（2000年初演）、『アラジン』（2008年初演）、『バゴダの王子』（2011年初演）の衣裳を通じて、東洋や日本の奇異な想像が反映された世界観と、インスタレーションによる秋・冬まつりのような賑やかな奇想空間を存分にお楽しみいただけます。また、主催公演の衣裳に加え、今回は長門美保歌劇団よりオペラ『蝶々夫人』（1946年初演）の衣裳が展示されるのも大きな見どころの一つです。

今回の展示では、モザイクに見立てたインスタレーションが展示空間に散りばめられており、各ブースの作品をイメージした空間アートを創り出しています。衣裳やキャラクターのみならず、空間デザインにも表情をそえるアートの世界にもご注目ください。また、実際の衣裳やオブジェと併せて、今回も約200枚以上の展示作品の写真を展示パネルにてご紹介いたします。カメラのフィルターを通して表現された世界も併せてお楽しみください。

新国立劇場では今後もアートをより身近に感じていただける場として「初台アート・ロフト」を皆様にお届けしてまいります。新国立劇場にお立ち寄りの際は、ぜひ空間全体でアートをご体感ください。

キュレーション：桜井久美

インスタレーション：アトリエヒノデ／渡邊健斗／青木美穂

写真撮影：田中亜紀

マネキン製作：株式会社七彩

小道具：新国立劇場 技術総括室

制作：新国立劇場 情報センター

■ 展示衣裳〈新国立劇場主催公演〉

- ・バレエ『梵鐘の聲』（1998年初演）
維盛／祇王
衣裳：八重田喜美子
- ・オペラ『蝶々夫人』（1998年初演）
ピンカートン
衣裳：岸井克己
- ・バレエ『くるみ割り人形』（1998年初演）
バラの精霊／ネズミの王様
美術・衣裳：シモン・ヴィルサラーゼ
- ・バレエ『ラ・バヤデール』（2000年初演）
ソロール／ニキヤ
装置・衣裳・照明：アリストエア・リヴィングストーン
- ・オペラ『夕鶴』（2000年初演）
つう
衣裳：植田いつ子
- ・バレエ『アラジン』（2008年初演）
アラジン／プリンセス
衣裳：スー・ブレイン
- ・バレエ『パゴダの王子』（2011年初演）
王子／さくら姫
装置・衣裳：レイ・スミス
- ・オペラ『紫苑物語』（2019年初演）
宗頼／うつろ姫
衣裳：リチャード・ハドソン



オペラ『夕鶴』
つう



バレエ『くるみ割り人形』より
ネズミの王様

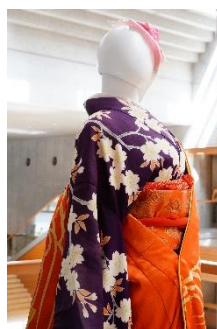


バレエ『アラジン』
アラジン／プリンセス

■ 展示衣裳〈長門美保歌劇団〉

オペラ『蝶々夫人』

ドラマティック・ソプラノとして1900年代に活躍したソプラノ歌手、長門美保（1911-94）が着用した蝶々夫人の衣裳を展示いたします。



左・上：オペラ『蝶々夫人』蝶々夫人

■ Hatsudai Art Loft 初台アート・ロフトについて

「初台アート・ロフト」とは、2019年7月にスタートした新国立劇場内の公開空地（オープンスペース）を活用した展示です。空間全体をアートとしてクリエーションすると同時に、貴重な舞台芸術を文化資産として修繕・保存することにも力を入れています。

新国立劇場は、1997年の開場以来、25年にわたって先駆的な公演も含め、常に世界水準の公演を上演してきました。これまでに蓄積した当劇場の財産を活用し、我が国の舞台芸術振興の拠点としてのプレゼンスを高めるプロジェクトを進めています。その一環として舞台美術・衣裳展を定期開催しており、「初台アート・ロフト」を通じて、新国立劇場がいつでも舞台芸術に触れていただけるにぎわいの場になることを目指しています。

■ 取材等お問合せ

※今後の展示の様態替えについては、当劇場ウェブサイト（<https://www.nntt.jac.go.jp/>）にて順次お知らせしてまいります。

公益財団法人新国立劇場運営財団 広報室
広報第一係 松延・小松・西島
TEL：03-5352-5781（直通）
FAX：03-5352-5709
E-Mail：press@nntt.jac.go.jp